

指導の重点

(1) 各教科・科目の指導

- ア 学習指導要領に基づき各専門教科・学校設定科目・普通教科の充実を図るとともに、生徒による授業評価アンケートを生かして授業改善に努め、相互連携を行うことで、学力の向上を目指す。
- イ 年間授業時数を確保し、基礎・基本の徹底と、自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力等の育成に取り組む。
- ウ 資格取得・検定合格や各種大会出場を推進し、目標をもって学ぶ姿勢を育て、合格実績を向上させる。
- エ 豊かなプレゼンテーションスキルや表現力を育み、言語活動を充実しコミュニケーション能力の土台を培う。
- オ 家庭科、保健体育、人間と社会等の授業を通して環境教育に積極的に取り組む。
- カ 「奉仕」活動の意義を理解させ、社会貢献を適切に行う能力と態度を育てる。
- キ 「人間と社会」では、道徳性を養い、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。
- ク 保健体育の授業、部活動、特別活動等を通して体力の向上を目指す。
- ケ 国語科の授業を中心に各教科の指導を通して、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにするため読書活動を推進する。
- コ 学力スタンダード・技能スタンダード・各種学力テスト等を活用し、学力・技能を確実に定着させる。サ 公民科の授業やホームルーム、特別活動等において主権者教育を推進する。
- シ 数学（数学Ⅰ、Ⅱ）・英語（英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ）・商業（企業会計Ⅱ、原価計算）においては習熟度別授業、また体育（体育）・工業（産業技術基礎、課題研究）・商業（情報スキル、情報実習、課題研究）においては少人数指導授業を取り入れ、きめ細やかな指導に取り組む。

(2) 特別活動の指導

- ア 学習指導要領に基づき計画的にホームルーム活動の充実を図り、集団の中の人間として望ましいあり方を探究させる。その一方で個人を尊重することの大切さ、人間としての在り方、生き方も意識させ、自殺防止教育を推進する。
- イ 部活動の活性化を通して、社会生活・人間関係等に対する望ましい態度を育てる。
- ウ 生徒会活動の充実を図り、積極的に参加する姿勢を育て、自主性・協調性を育てる。
- エ 文化系行事・体育系行事等に集団として取り組ませ、人間関係を形成する能力や意欲を育てる。
- オ 学校行事の学習指導要領に基づく適切な実施と充実を図る。
- カ 美化・清掃活動に積極的に取り組み、全校の一斉清掃を実施する。

(3) 生活指導

- ア 家庭と連携し基本的生活習慣を定着させ、社会性と規範意識を身に付けた生徒を育成する。
- イ 学校組織をあげた道徳教育の推進により、社会性を身に付けさせ、情操豊かで健やかな心を育てる。
- ウ 清掃・集会・校外学習等の集団行動を通して、規範意識を育み、集団の一員としての自覚を高め

る。

エ ノーチャイム制を敷き、生徒に「時間を守る」ことの重要性を意識づけさせる。

オ セーフティ教室を実施し、生徒一人一人に薬物乱用防止意識を徹底する。

カ 地域と連携した防災訓練や避難訓練を通して防災教育の推進を図る。

キ オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、教育活動をととして八王子のプロスポーツの活性化や地元織物工業組合と連携した八王子地区の織物産業の保全に貢献する。

ク SNS マナー講座を実施し、生徒一人一人にコミュニケーションの大切さを意識させ、いじめ防止を徹底する。

(4) 進路指導

ア きめ細かな指導に取り組み、生徒一人一人に適切な時期に適切な情報を提供する。

イ 生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けた資質・能力の育成。

ウ 計画的な進路指導とガイダンスを充実させ、生徒自ら個性や適性に応じた進路を選択できる力を組織的に育てる。

エ 生徒一人一人の入学時から卒業に至るまでの学力推移データを集積して、進路指導に活用するための資料づくりを推進する。

(5) 総合的な学習の時間の指導

「課題研究」は、各自が設定した探究的な学習によって問題解決を主体的、創造的に取り組む態度を育成し、成果発表会や作品制作展等をもって評価することから、「課題研究」の履修をもって、「総合的な探究の時間」に代替する。(3学年3単位、※デザイン分野のみ4単位)